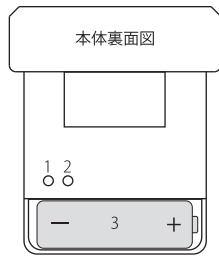


電波時計 取扱説明書

- お買い上げいただきありがとうございます。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
- この製品は日本国内用ですので、海外の使用には適していません。ご了承ください。
- この取扱説明書は必ず保管してください。

各部の名称



- 1.M.SETボタン**
手動設定の時に使用するボタンです。
- 2.RECボタン**
強制受信するためのボタンです。
- 3.電池挿入部**
電池は電池ホルダー内に、記載の向きに合わせて挿入してください。

電波時計について

■電波時計

標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持った時計です。標準電波の時刻情報は「セシウム原子時計」により、およそ10万年に1秒の誤差という精度を保っています。標準電波送信所は、福島県の「おおたかどや山標準電波送信所(40kHz)」と佐賀県の「はかね山標準電波送信所(60kHz)」の2か所にあり、ほぼ日本全域をカバーしております。

■標準電波の送信停止

標準電波は、ほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業などで一時的に送信を中断することもあります。

■電波の受信範囲

送信所から約1,000km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても、太陽活動、気候条件、置き場所、時間帯、地形、建物などにより受信できない場合があります。

ご使用上の注意 ※あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐものです。必ず守ってください。

○表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

- この表示は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。
- この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

○お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です)

- この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
- この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

- 小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。
- 分解したり改造したりしないでください。故障の原因になります。
- 時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

電波時計使用上の注意 ※次のような場所では受信できない場合があります。

電波時計は、テレビラジオと同じように電波を受信しております。以下の場所では受信できない場合があります。

- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車架線の近く
- テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン等の家電製品やOA機器の近く
- 工事現場、空港の近く、交通量の多いところなど、電波障害の起きる所
- 朝夕の時間帯、雨天の時



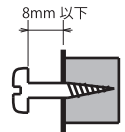
電池に関して

- 電池から漏れた液が目に入った場合は、失明のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 時計が動いても1年ごとに新しい電池と交換してください。古い電池は液漏れを起こし、時計や周囲の物を痛める恐れがあります。
- 電池はアルカリ電池をご使用ください。それ以外は使用しないでください。
- 長時間使用しない場合は電池を取り外しておいてください。



設置場所に関して

- 製品は安全な場所、邪魔にならない場所、お客様の手の届かない場所でご使用ください。
- 無理な力を加えないでください。衝撃により破損する場合がありますので、お取り扱いには十分注意してください。
- 故障の原因となりますので以下の場所でのご使用は避けてください。
 - ・振動・衝撃の多い場所
 - ・磁気のある場所
 - ・浴室など湿気の多い場所
 - ・埃の多く発生する場所
 - ・温度が40℃以上、0℃以下になる場所
- 掛ける時は、時計を上下左右に動かし、外れないことを確認してください。
- 木の厚い壁、木の柱にかける時は付属の掛け具(木ネジ)をご使用ください。掛けネジはネジ残しが8mm以下になるようにねじ込んで、時計を確実にかけてください。
- 石膏ボード、コンクリート等の壁に掛ける場合は、付属の掛け具(木ネジ)は絶対に使用しないでください。壁の材質、構造にあった「3kg」に耐えられる市販の掛け具をご使用ください。
- 直射日光、高温多湿の場所は避けてご使用ください。



お手入れ方法

- 汚れやホコリを拭き取る時は、柔らかい布で乾拭きしてください。
- シンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、洗剤、各種ブラシ等は使用しないでください。

ご使用方法 ※正しく起動させるため、下記の順番にご確認ください。

- 1.電池を入れてください**
単3乾電池を1本+-の向きに注意して電池ホルダーに正しく入れてください。
 - 2.針が動き出し、12の位置で止まります**
針が止まったままになりますが、受信待機状態のため故障ではありません。
 - 3.受信結果が出るまで一晩程度お待ちください**
電波を受信すると、針が動き出し正確な時刻をさします。受信時間は、受信環境により異なります。受信待機中は、ボタン類に触れないようにしてください。誤作動の原因となります。
- ※電波の受信結果について
12時に停止後、20分以上経過しても受信できなかった場合は、12時から針が動き出します。その場合は「手動設定」を参照してください。

電波を受信できなかった場合 ※針が止まったり、時刻が合わない場合参照してください。

- 手動で時刻を合わせてスタートさせる。
M.SETボタンを3秒間押し続けます。時分針が早回りし始めます。現在時刻に近づいたら離してください。以後ボタンを1回押すごとに、針が1分ずつ進みますので、正確な時刻に合わせてください。
※M.SETボタンを長押しした後、5秒以上操作しないと、ボタンを押しても針は1分ごとに進まなくなります。
※M.SETボタンは、分針を合わせるためのボタンです。
- 電波の強制受信をさせる、場所を変えてみる
RECボタンを約3秒間押し続けてください。時計の針がその場で停止して、再度、受信待機状態になります。また、電波を受信しやすい窓側などに、時計を移動させてお試しください。
- 一昼夜そのままにして様子を見る
夜間は比較的電波の状況がよくなりますので、受信する可能性が高くなります。
※初期受信ができなかった場合は、表示時刻が正確になることに最多12回まで自動受信を始めます。
※最多12回の自動受信で受信ができなかった場合は、以後24時間に1回(午前1時頃)自動受信を行います。

リセット操作について

- 操作中に不明な点が出てきた場合や、うまく受信ができない場合は、電池を一旦、電池ホルダーから取り出し、30分程度たってから再挿入してください。その際は、ボタン類などには触れず、再挿入してください。その後は、電波受信をしやすい窓際などに時計を移動させ、一晩様子を見てください。

故障かなと思ったときは

- 電池の確認
 - ・電池の残量が少なくなってくると、秒針の進みが目に見えて遅くなったり、秒針が上まで登りにくくなったりなどの誤表示の原因となります。
 - ・電池交換の際は電池を外した後、数分たってから新たな電池をセットしてください。

ご使用期間が、まだ電池交換の必要が無い期間の場合は、以下をご確認ください。

症状	考えられる原因	処置
時計が数秒程度の速いで動いている		そのままでも電波受信後に自動修正されます。
時計が数分程度の速いで動いている	電波受信に失敗している可能性があります。	強制受信、またはリセット操作を行い、様子を見てください。
時計が全く異なる時間で動いている	時刻電波以外に反応して、誤作動(誤受信)を生じた可能性があります。	
待機時刻12時で時計が止まっている		
待機時刻の12時以外の時刻で時計が止まっている	症状の改善が見られない	恐れ入りますが販売店までご連絡ください。